

## 競技運営に関する取り決め事項

- 1 チームは、試合開始予定時刻の1時間前までに球場に到着し、本部から打順表を受け取ること。
- 2 ベンチは、組み合わせ番号の若い方を一塁側とする。
- 3 第一試合のチームは、試合開始予定時刻の30分前までに、監督または主将が打順表（選手登録簿に記載されている選手全員を記入する。）を本部へ提出し、登録原簿と照合を受けた後、審判員立会いのもとに攻守を決定し、直ちにシートノックに入る。態勢が整っている時は、試合開始予定時刻前でも試合を開始する。

なお、その日の第一試合に出場するチームは、外野地域に限り練習することを認める。その際アップ用服装（同一が望ましい）でもよいが、打順表提出時には全員ユニフォームに着替えシートノックに備えること。
- 4 組み合わせ表にある試合開始時刻はあくまでも予定であり、第二試合以降のチームは、予定時刻の60分前までに集合し、大会本部へ到着を報告すること。試合開始予定時刻になって会場に到着しない（選手が9名集まらず、遅れて到着する時）場合は棄権とみなす。

注. 試合当日の人数

  - ・県大会（申込み）の登録人数は10人以上とすること。不可能な場合は出場できないこととする。ただし、試合については9人でも可とする。怪我人等により試合継続が不可能となった場合はその時点で没収試合とする。

前試合の4回（学童3回）終了時、打順表（県連指定）6部を本部に提出し、登録原簿と照合を受けた後、審判員立会いのもとに攻守を決定する。試合開始時刻に関係なく、前の試合が終了次第シートノックを行うので、終了挨拶の間にグラウンドに入り、ベンチ横の外野側に用具を置きキャッチボールを行う。
- 5 シートノックは5分間以内とする。ただし、大会運営上シートノックは行わずに試合を開始することもある。この場合は攻守決定時に通知する。また、ノッカーは選手と同一のユニフォームでなければならない。なお、捕手は捕手用ヘルメット・プロテクター・レガーズ・ファウルカップを必ず着用すること。ダードサークル内に入る補助員と左右ファウルゾーンからの外野ノックの補助員はヘルメットを着用すること。
- 6 打者・走者・ベースコーチャーもヘルメットを着用すること。
- 7 ベンチ内での電子機器類（携帯電話、パソコン等）の使用を禁止するが、電子スコア記録用として1台の使用を認める。また、電子スコア記録用の机・椅子1組の持ち込みを認める。但し、球場に常備されていない場合に限る。指示用メガホンは、ベンチ内に限り1個の使用を認める。
- 8 攻守交代時に、最後のボール保持者は、投手板にボールを置いてベンチに戻ることに。
- 9 球場でのフリーバッティングは禁止する。トスバッティングは認める。
- 10 監督・コーチ等が投手のところへ行く回数の制限
  - ・捕手または内野手が、1試合に投手の所へ行ける回数は、3回以内とする。なお、延長戦（タイブレーク方式を含む）となった場合は、1イニングに1回行くことができる。
  - ・野手（捕手を含む）が投手の所に行った場合、そこへ監督がいけば双方1回として数える。その逆の場合も同様とする。投手交代の場合は、監督またはコーチのみ回数には含まない。

・監督またはコーチがプレーヤーとして出場している場合は、投手のところへ行けば野手として1度と数えるが、協議があまり長引けば、監督またはコーチ等が投手の所へ1度行ったこととし通告する。

・攻撃側のタイムは、1試合3回以内とする。なお、延長戦（タイブレーク方式を含む）となった場合は、1イニングに1回とする。

1 1 次打者は、投手が投球姿勢に入ったら素振りをしてはならない。投手も必ず次打者席に入ること。これらを実行すること。

1 2 ベンチに入れる人数は、ユニフォームを着用した選手25名以内（壮年の場合は21名以内）とする。チーム代表者（責任者）、マネージャー、スコアラー、トレーナー（有資格者）は各1名とする。

※1 学童チームの合同チーム編成は、6年・5年・4年で10人に満たない場合と5年生・4年生で10人に満たない場合は合併を認める。前記の10人を満たないで、茨城県軟式野球連盟及び（公財）全日本軟式野球連盟に登録も可とするが、予選大会に出場する時点で、10人に満たない場合は合同チームを編成することができる。また、この場合、チーム名の混在・ユニフォームの混在を認めるが背番号は重複しないこと。

※2 ※1以外の合同チームは、ユニフォームを統一すること。

※3 熟年県大会の年齢制限については、県大会優勝チームの全日本シニア軟式野球大会（次年度5月開催）出場を考慮し、支部予選及び茨城県大会時での出場資格を4月1日現在で満49歳以上の者とする。

1 3 学童部の大会においては、熱中症対策として保護者2名までがベンチに入ることができる。

1 4 用具、装備およびユニフォームは、（公財）全日本軟式野球連盟規程細則第12条で定めるものを使用、装備、装着すること。スパイクの色は自由とし、全員同色でなくても構わない。

1 5 茨城県軟式野球連盟特別規則および取り決め事項に定めがない場合は、（公財）全日本軟式野球連盟「競技運営に関する注意事項」「競技に関する連盟特別規則」等（競技者必携参照）を準用する。